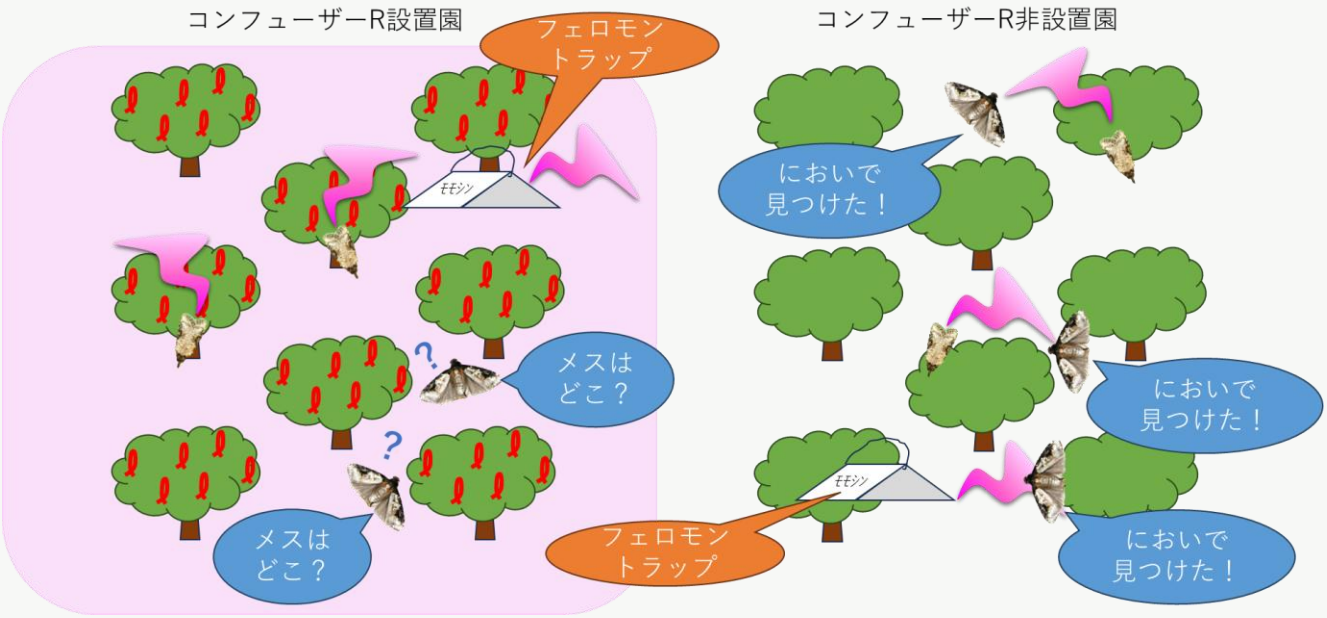
交信かく乱剤コンフューザーRの各種リンゴ害虫に対する効果について

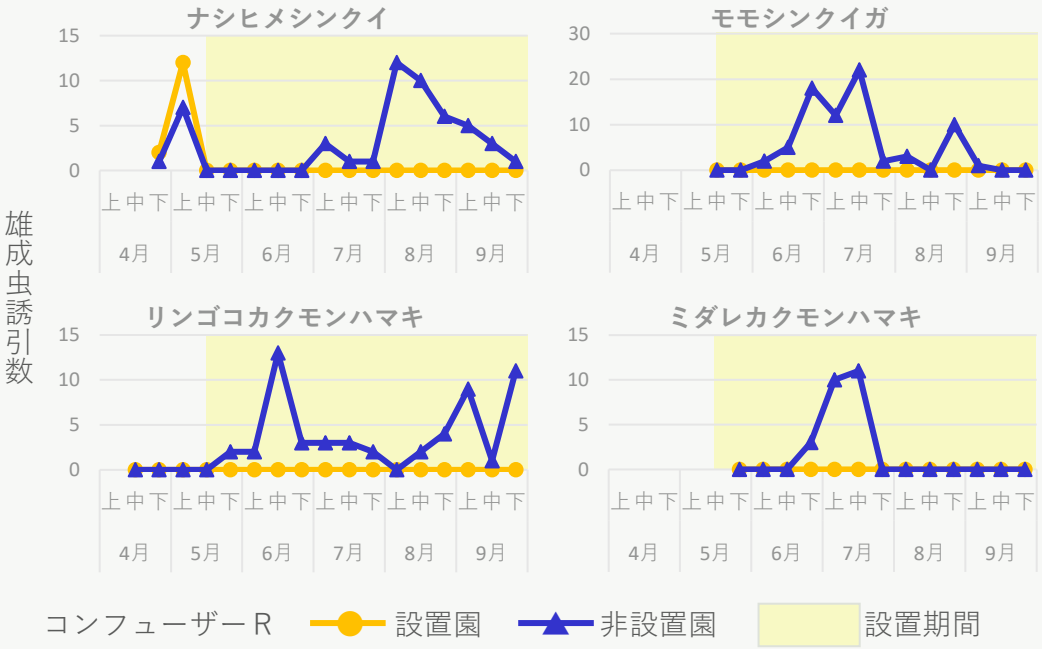
令和６年青森県りんご病害虫防除暦に基準薬剤として位置づけたコンフューザーＲは、県内の5,000haを越えるリンゴ園で使用されました。その効果を検証するため、フェロモントラップを用いた誘引阻害効果の調査を行ったところ、各種リンゴ害虫に対して高い効果が認められました。

フェロモントラップを用いてコンフューザーＲの誘引阻害効果を見える化



コンフューザーＲ設置園と非設置園にフェロモントラップを設置すると、非設置園では雄成虫がトラップの性フェロモンのにおいに誘引されますが、設置園では園地のあちこちでコンフューザーＲのディスペンサー（右の写真参照）から同じにおいが放出されているため、フェロモントラップに雄成虫が誘引されなくなります。これは設置園で本物の雌成虫が性フェロモンを放出しても、雄成虫が雌成虫を見つけることができなくなるのと同じ現象であると考えることができます。

リンゴ園における各種害虫に対するコンフューザーＲの誘引阻害効果



対象害虫４種のフェロモントラップに誘引された雄成虫数をコンフューザーＲ設置園と非設置園で比較しました。

その結果、いずれの害虫もコンフューザーＲ非設置園では多数の雄成虫が誘引されたのに対し、設置園では雄成虫が誘引されませんでした（設置前のナシヒメシンクイ越冬世代成虫を除く）。

すなわちコンフューザーＲの対象害虫に対する誘引阻害効果は高いことを示しています。

お問い合わせ　りんご研究所　病害虫管理部（TEL 0172-53-6132）

青森産技　あおもりの未来 技術でサポート